

# 2006年3月期 決算資料

2006年6月5日

**東洋合成工業株式会社**

## ■ 目次

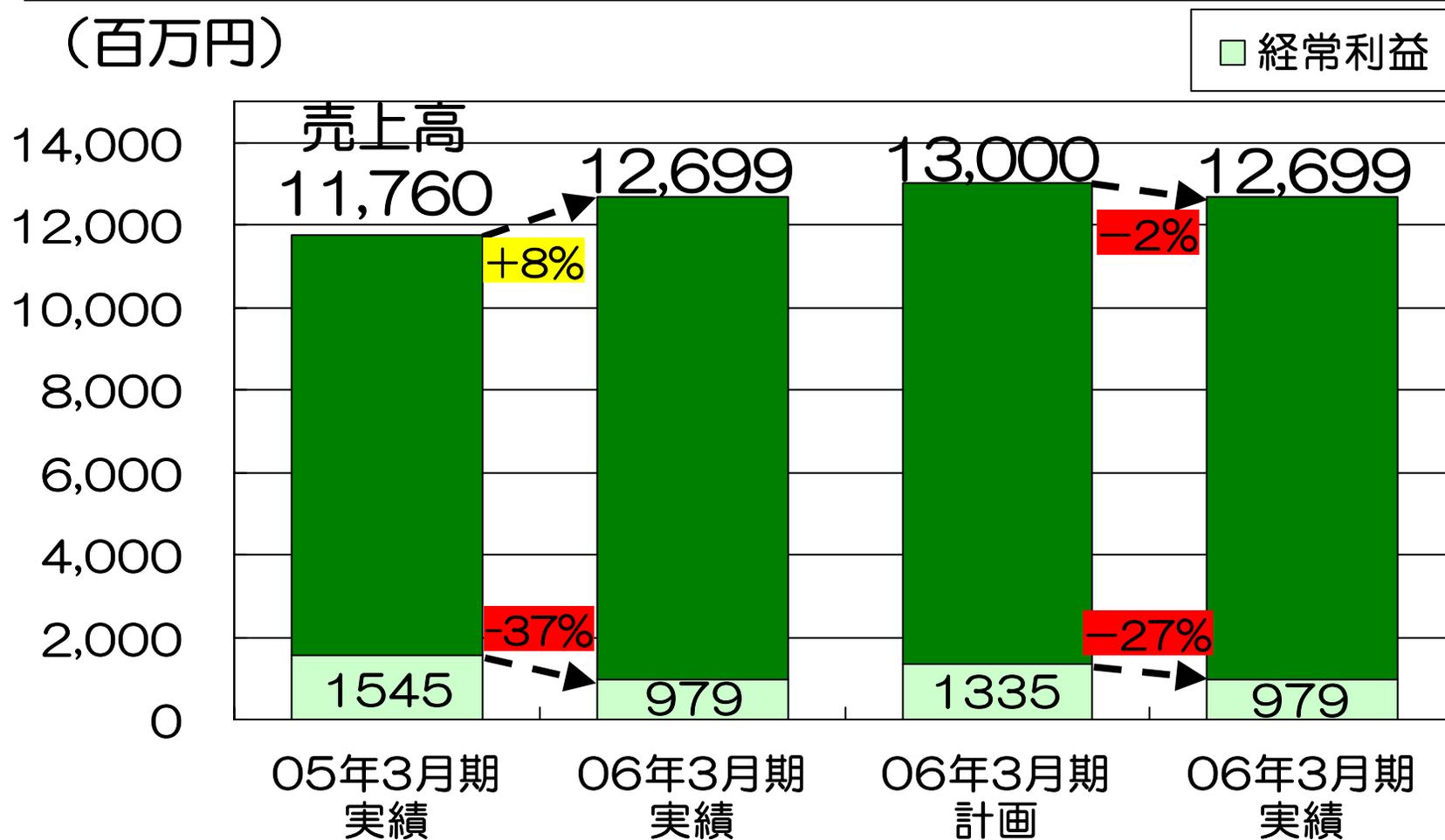
- |              |      |        |
|--------------|------|--------|
| 1. 2006年3月期  | 決算概要 | P3~15  |
| 2. 2007年3月期  | 業績計画 | P16~21 |
| 3. 各事業の今後の展望 |      | P22~29 |

# 1. 2006年3月期 決算概要

## ■ 全社 売上高・経常利益

- 売上は前年比8%の増収なるも、計画比2%未達
- 経常利益は前年比37%の減益

(百万円)



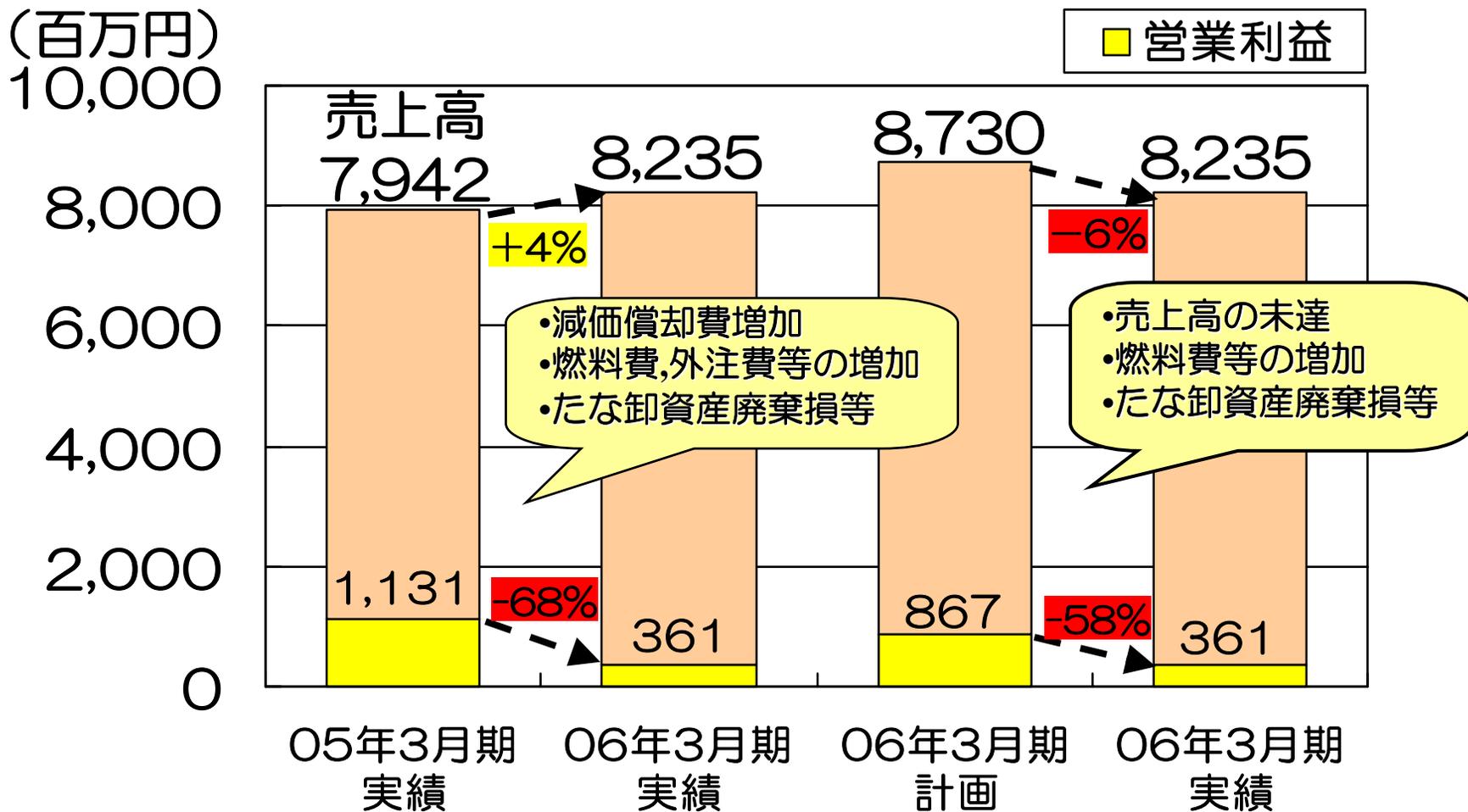
# ■ 全社 2006年3月期 決算概要

科目 (百万円)	2005年 3月期 実績	2006年 3月期 実績	対前年		計 画	差 異
			増減	%		
売上高	11760	12699	+938	+8%	13000	△300
感光性材料	7942	8235	+292	+4%	8730	△495
化成品	2331	2862	+530	+23%	2700	+162
ロジスティック	1486	1601	+114	+8%	1570	+31
営業利益	1775	1149	△625	△35%	1573	△424
感光性材料	1131	361	△770	△68%	867	△506
化成品	188	262	+73	+39%	215	+47
ロジスティック	455	526	+71	+16%	491	+35
経常利益	1545	979	△566	△37%	1335	△356
当期純利益	985	642	△343	△35%	780	△138

設備投資額	3402	3537	+135	+4%
減価償却費	1252	1664	+412	+33%
研究開発費	520	635	+115	+22%

# 感光性材料事業 売上高・営業利益

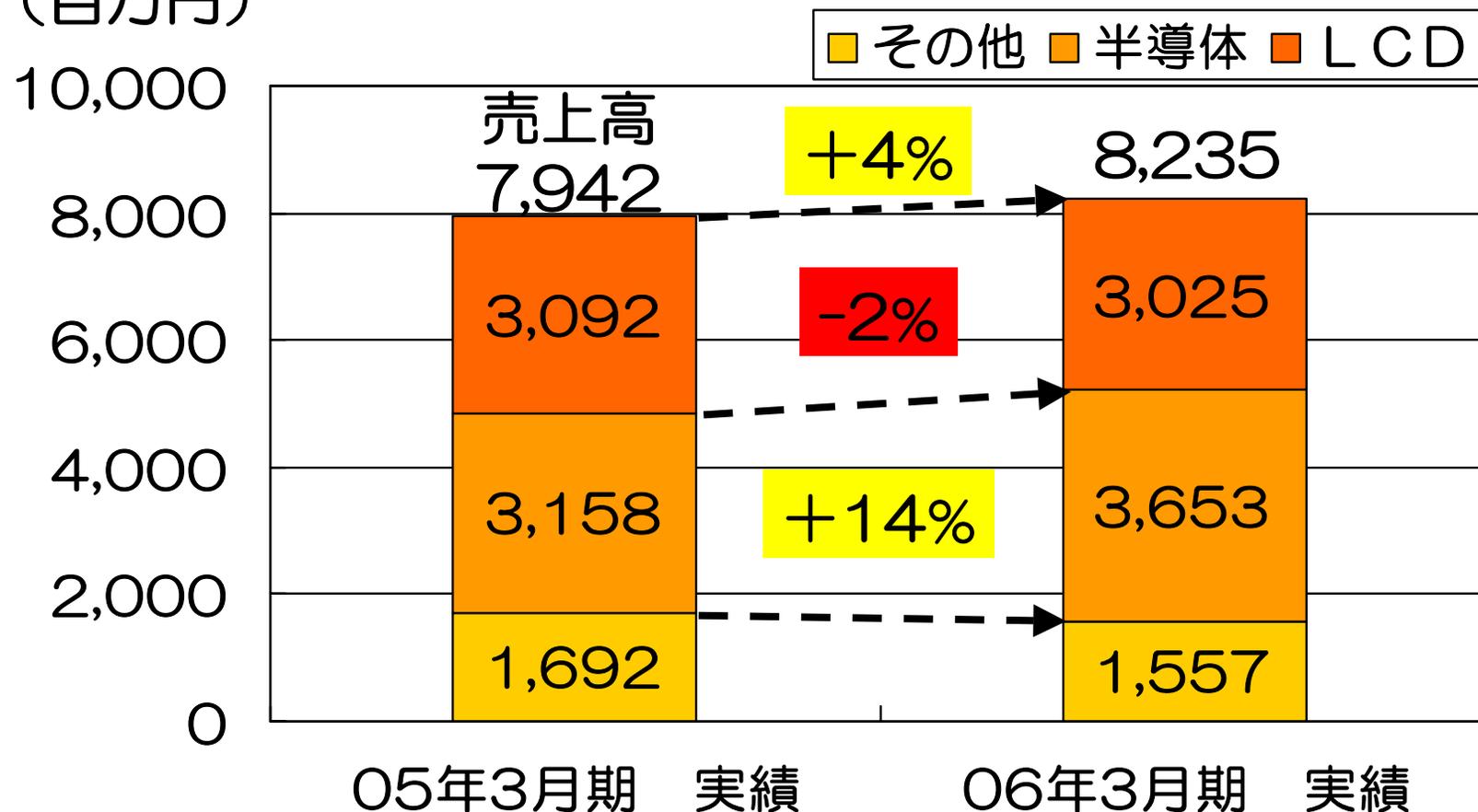
- 売上は、前年比4%増収
- 価格低下・設備投資などにより固定費率が上昇、減益



# ■感光性材料事業 用途別売上高

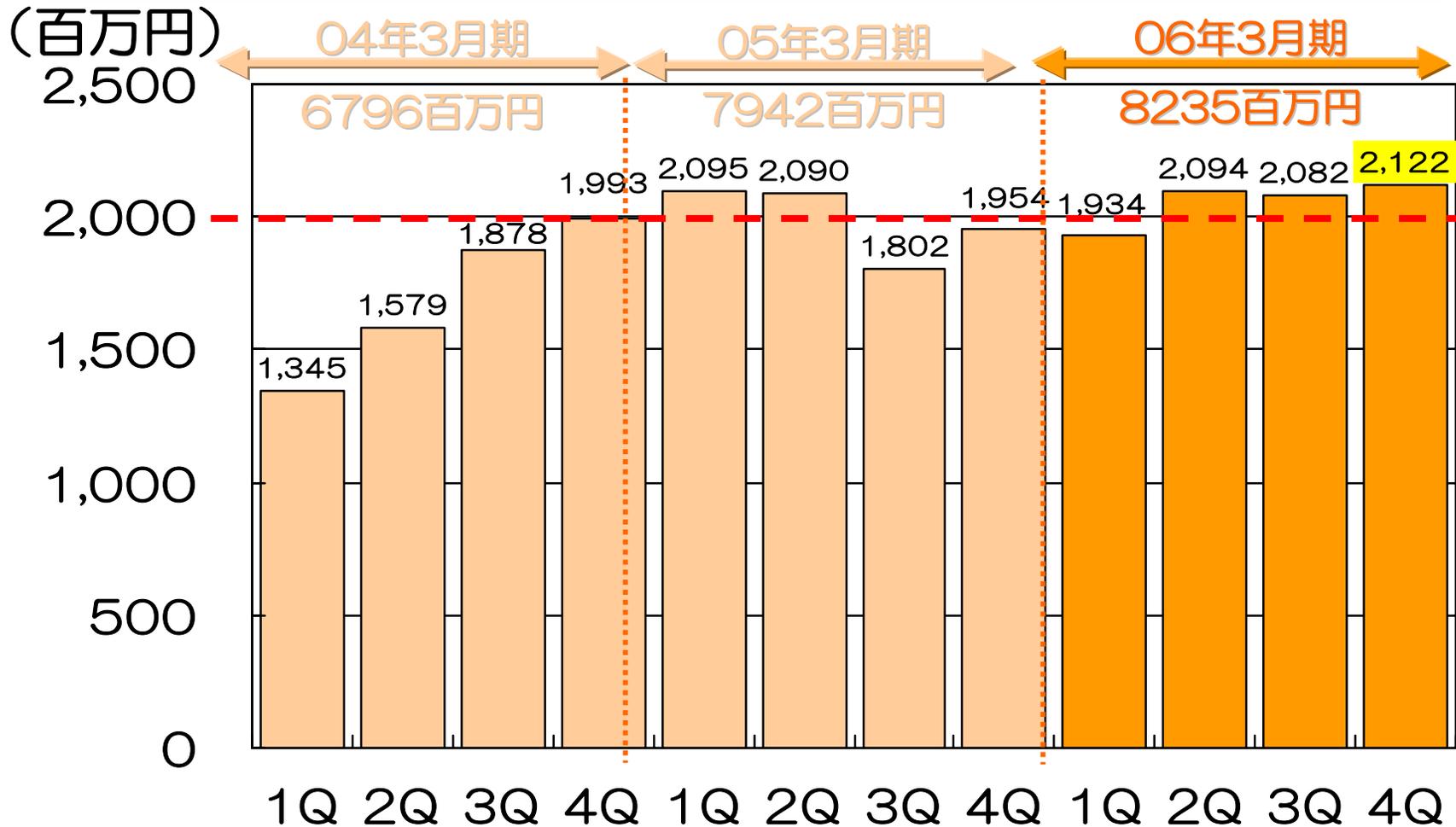
- 半導体用は+14%の増収
- 液晶用は価格低下により、2%の減収

(百万円)



# ■感光性材料事業 売上高推移

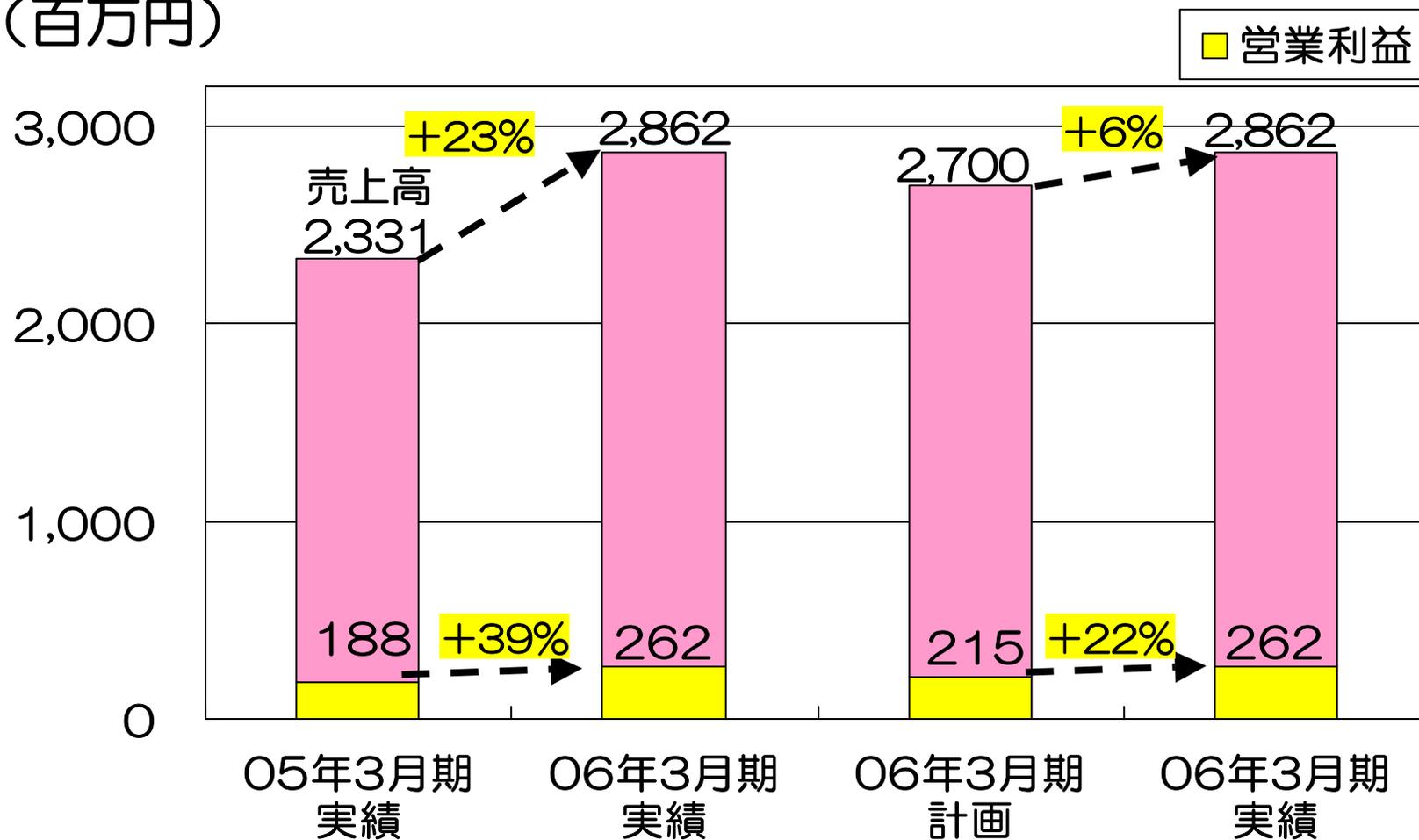
- 調整期を脱し、売上は安定化
- 4Qには過去最高の四半期売上を記録



# ■ 化成品事業 売上高・営業利益

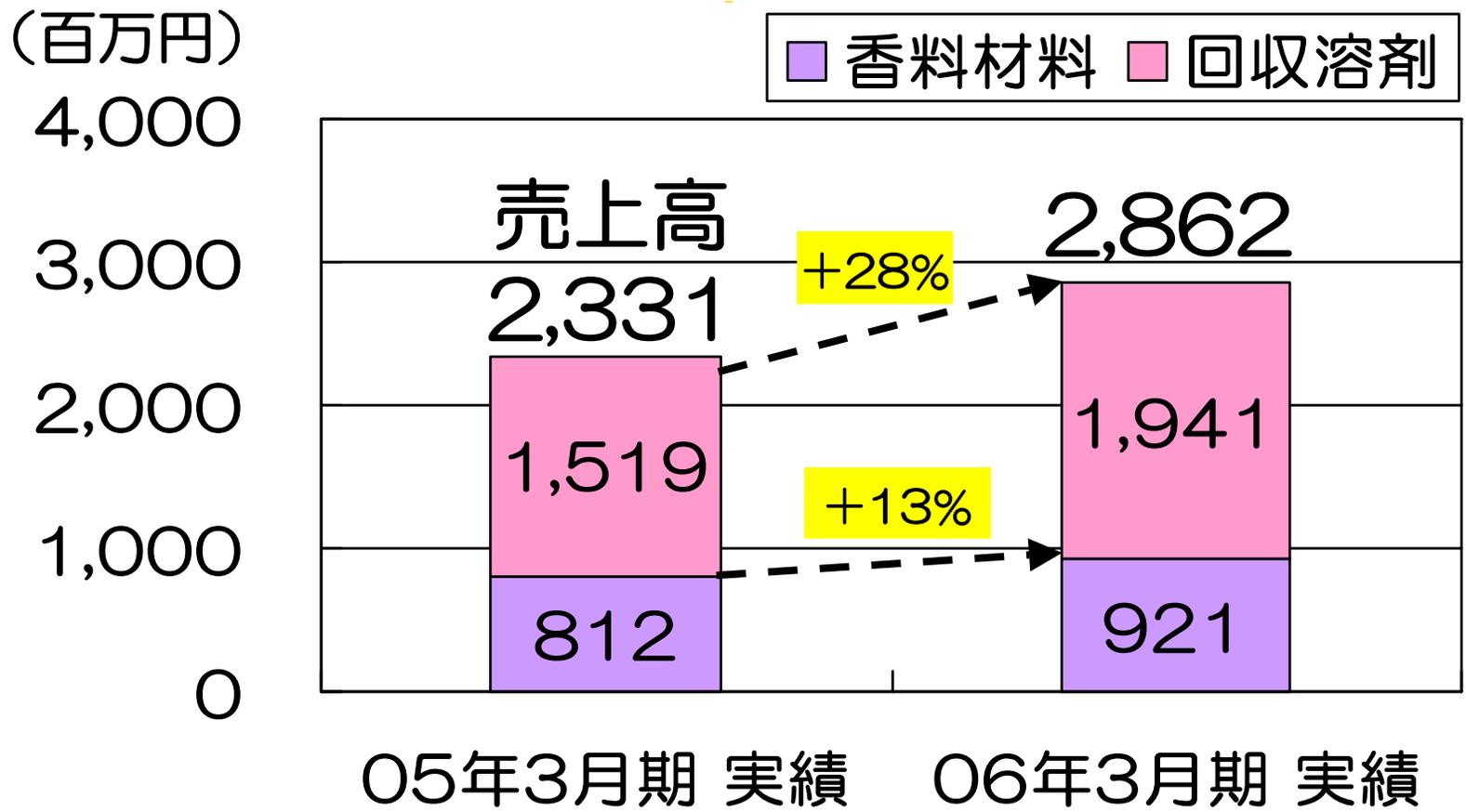
• 化成品事業は好調、增收增益

(百万円)



# ■ 化成品事業 用途別売上高

● 回収溶剤事業は30%弱の増収

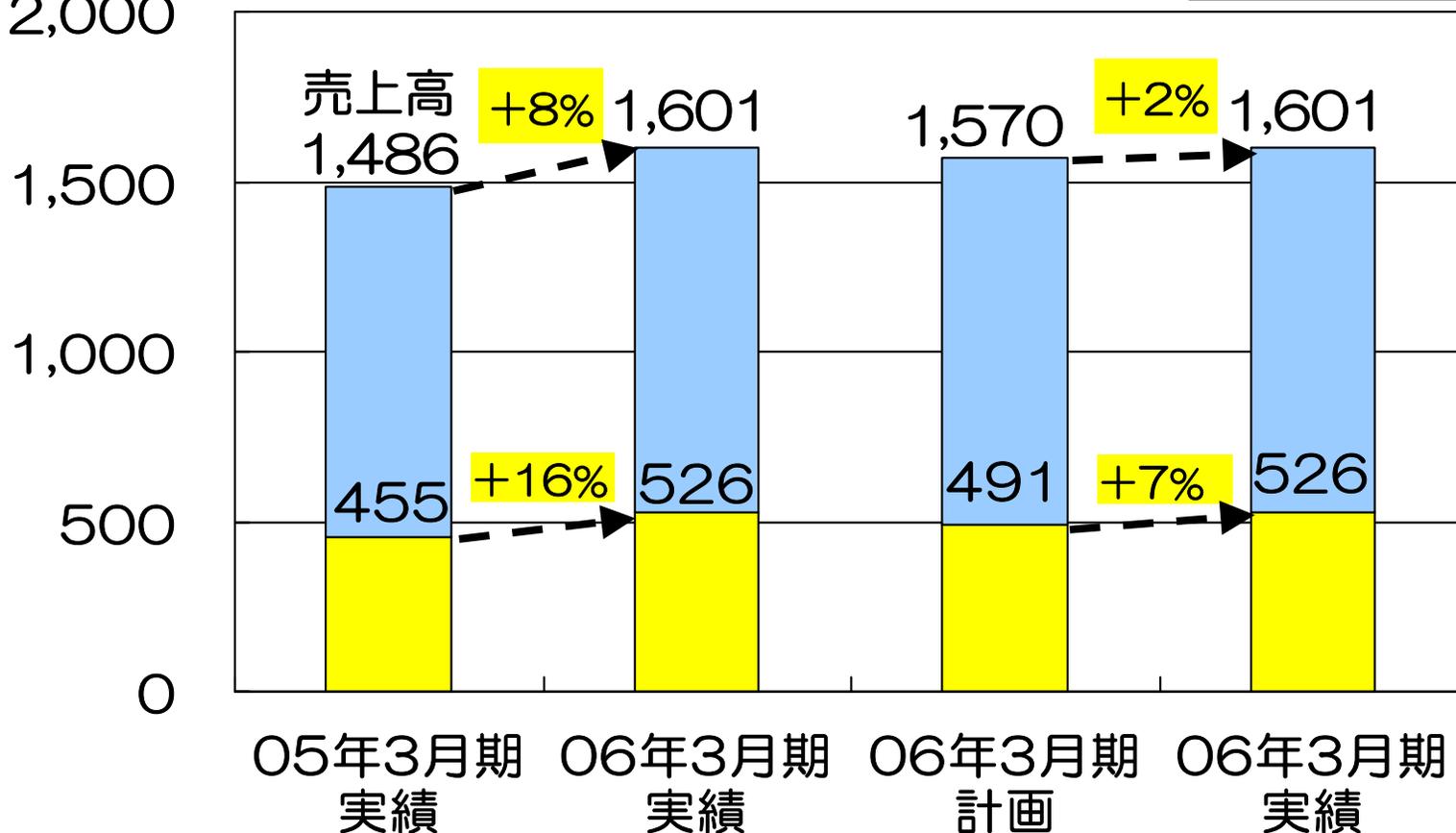


## ■ ロジスティック事業 売上高・営業利益

- ケミカルターミナル事業は好調、増収増益

(百万円)  
2,000

■ 営業利益



## ■ 全社 損益計算書

- 売上原価の増加により、利益率が低下
- 原価は、減価償却費、たな卸資産廃棄損、原油価格高騰による電力費、燃料費増により増加

科 目 (百万円)	2005年 3月期	2006年 3月期	対前年比	
			増減額	%
売上高	11,760	12,699	+938	+8%
売上原価	8,249	9,671	+1422	+17%
売上総利益	3,511	3,027	△ 484	△14%
販管費	1,735	1,877	+141	+8%
営業利益	1,775	1,149	△ 625	△35%
営業外収益	61	79	+17	+28%
営業外費用	291	249	△ 42	△14%
経常利益	1,545	979	△ 566	△37%
特別利益	28	27	△ 1	△4%
特別損失	23	14	△ 8	△37%
税引前当期純利益	1,550	992	△ 558	△36%
税金費用	565	350	△ 215	△38%
当期純利益	985	642	△ 343	△35%

## ■ 全社 貸借対照表

- 千葉第二工場建設等への設備投資のため、借入と固定資産が増加

科 目 (百万円)	2005年 3月期	2006 3月期	対前年比	
			増減額	%
<b>流動資産</b>	8,162	9,144	+981	+12%
現金預金	1,240	1,589	+348	+28%
売上債権	2,762	2,889	+126	+5%
棚卸資産	3,806	4,345	+539	+14%
その他	352	319	△ 34	△9%
<b>固定資産</b>	14,943	16,941	+1,997	+13%
有形固定資産	13,908	15,801	+1,893	+14%
無形固定資産	192	158	△ 34	△18%
投資その他の資産	843	982	+138	+16%
<b>資産合計</b>	23,105	26,085	+2,979	+13%
<b>流動負債</b>	9,976	11,616	+1,640	+16%
仕入債務	1,893	2,208	+315	+17%
短期借入金	5,199	6,864	+1,664	+32%
その他	2,883	2,543	△ 340	△12%
<b>固定負債</b>	5,415	6,242	+827	+15%
長期借入金	4,465	5,212	+747	+17%
その他	950	1,029	+79	+8%
<b>負債合計</b>	15,391	17,859	+2,467	+16%
<b>資本合計</b>	7,714	8,226	+511	+7%
<b>負債及び資本合計</b>	23,105	26,085	+2,979	+13%



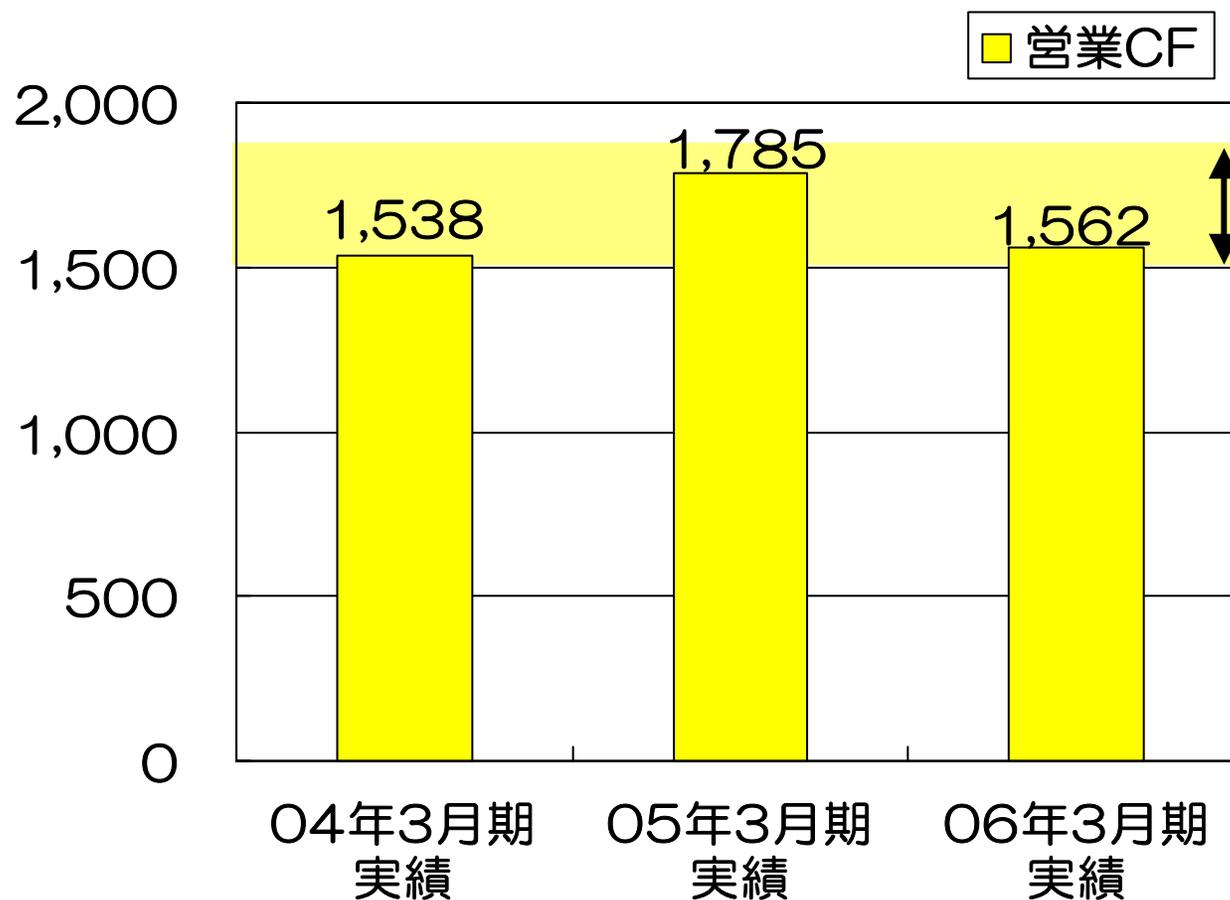
# ■ 全社 キャッシュフロー計算書

- 営業CFは、前期比、微減
- 有形固定資産取得のため、投資CFは大幅増
- 投資CFを借入などの財務CFで確保

科 目 (百万円)	2005年 3月期	2006年 3月期
営業活動によるCF	1,785	1,562
税引前当期純利益	1,550	992
減価償却費	1,252	1,664
売上債権の増減額	△ 363	△ 126
たな卸資産の増減額	△ 757	△ 539
仕入債務の増減額	472	315
その他	△ 369	△ 744
投資活動によるCF	△ 1,543	△ 3,402
財務活動によるCF	△ 69	2,235
現金及び現金同等物の増減	171	398
現金及び現金同等物の期末残高	668	1,066

# ■ 全社 営業キャッシュフロー推移

- 営業キャッシュフローは一定水準で推移

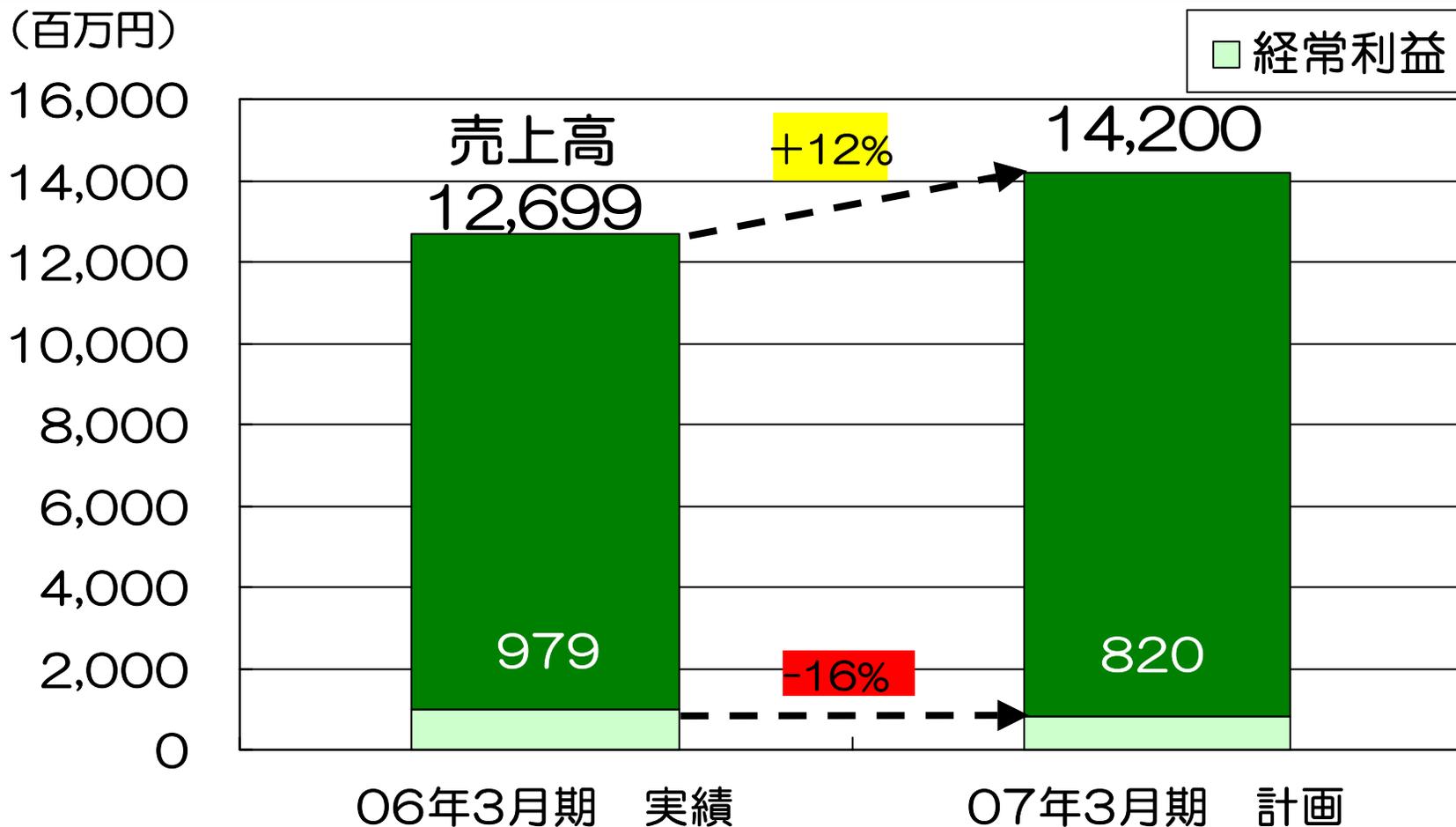


※04年は連結決算

## 2. 2007年3月期 業績計画

## ■ 全社 売上高・経常利益

- 売上は、12%の増収を計画
- 利益は、2007年度3月期まで高水準の設備投資・減価償却費の影響を受けるため、-16%の減益を計画



# 07年3月期 業績計画

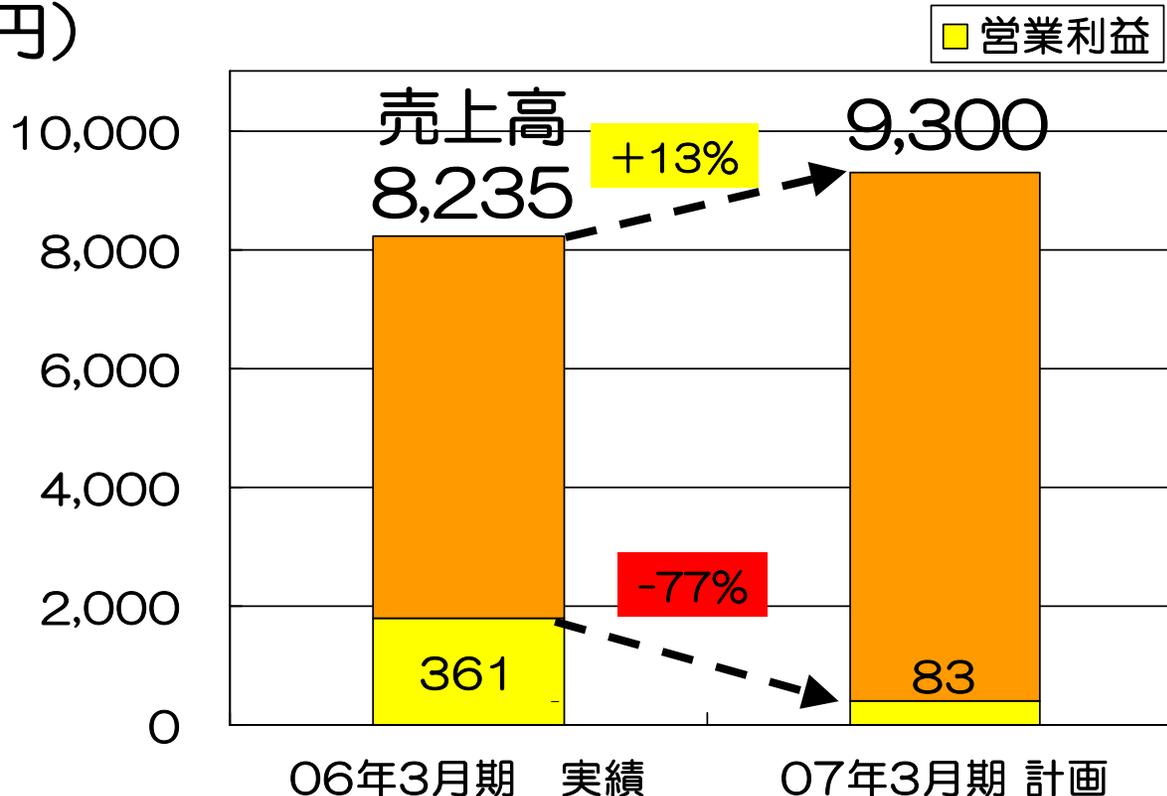
- 感光性材料事業の減益に伴い、全社では減益を計画

科目 (百万円)	2006年 3月期 実績	2007年 3月期 計画	対前年	
			増減額	%
売上高	12,699	14,200	+1,501	+12%
感光性材料	8,235	9,300	+1,065	+13%
化成品	2,862	3,280	+418	+15%
ロジスティック	1,601	1,620	+19	+1%
営業利益	1,149	888	△ 261	△23%
感光性材料	361	83	△ 277	△77%
化成品	262	400	+138	+53%
ロジスティック	526	405	△ 121	△23%
経常利益	979	820	△ 159	△16%
当期純利益	642	470	△ 172	△27%
設備投資額	3,537	1,600	△ 1,937	△55%
減価償却費	1,664	2,000	+336	+20%
研究開発費	635	790	+155	+24%

## ■ 感光性材料事業 業績計画

- LCD・半導体向ともに増産・売上増を計画。ただし、価格は下落。
- 利益は、価格の下落、減価償却費・原材料費・燃料費等の増加により、前年比-77%の減益を計画

(百万円)

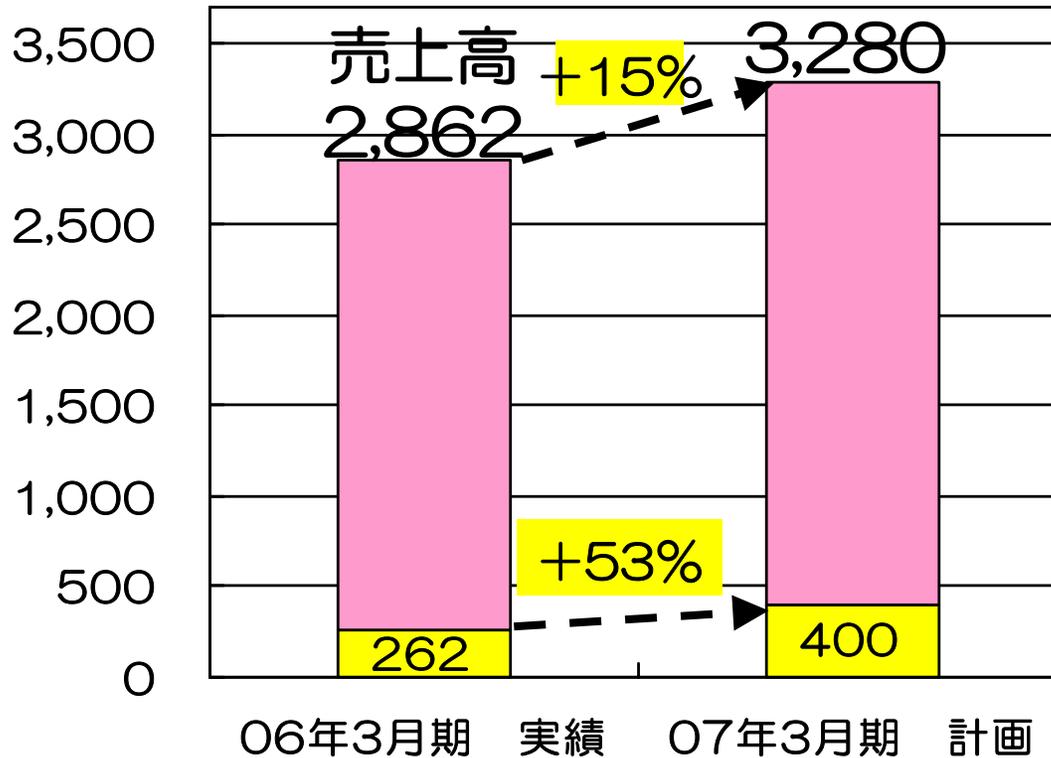


# 化成品事業 業績計画

- 回収溶剤リサイクル事業を中心に増収を計画
- 増産効果で増益見込み

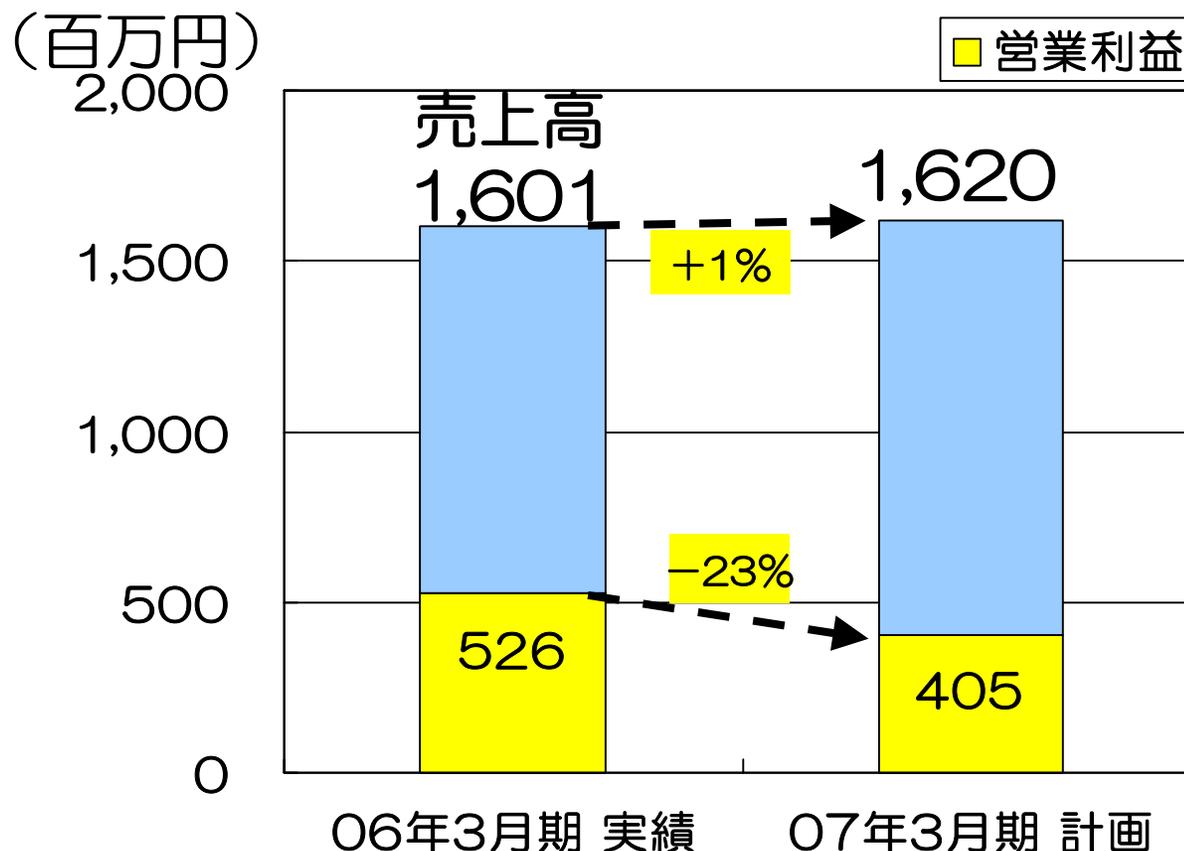
(百万円)

■ 営業利益



# ロジスティック事業 業績計画

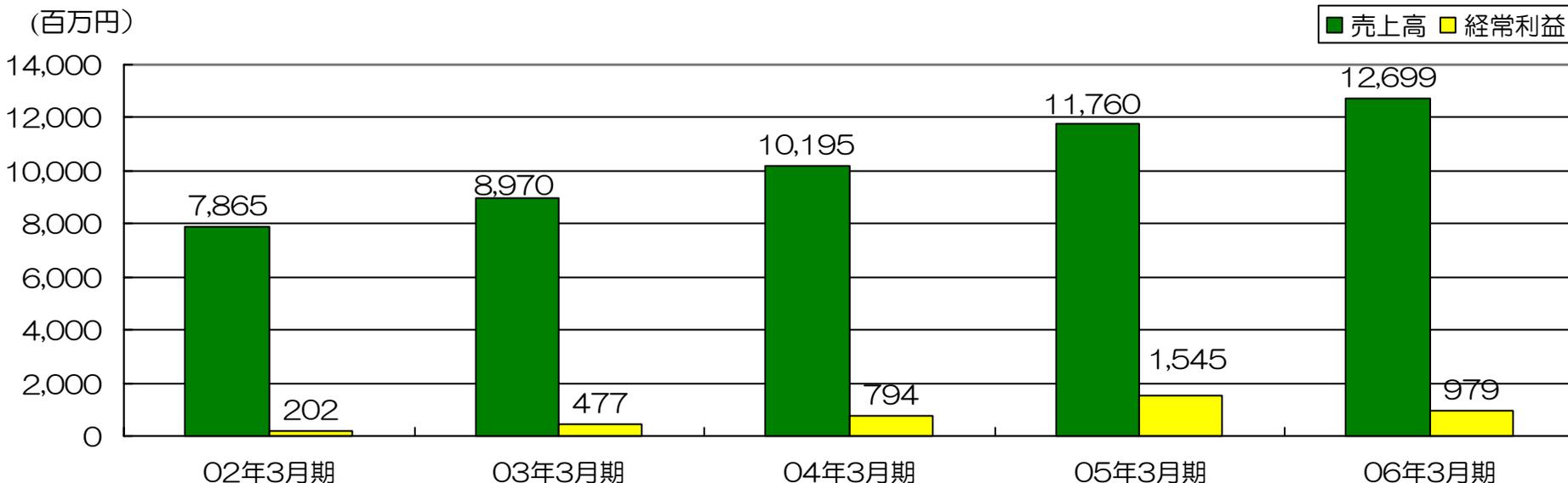
- 前期と同水準の売上を計画
- タンク増設による減価償却費により-23%の減益を計画



## 3 . 今後の展望

# ■ 2006年3月期のまとめ

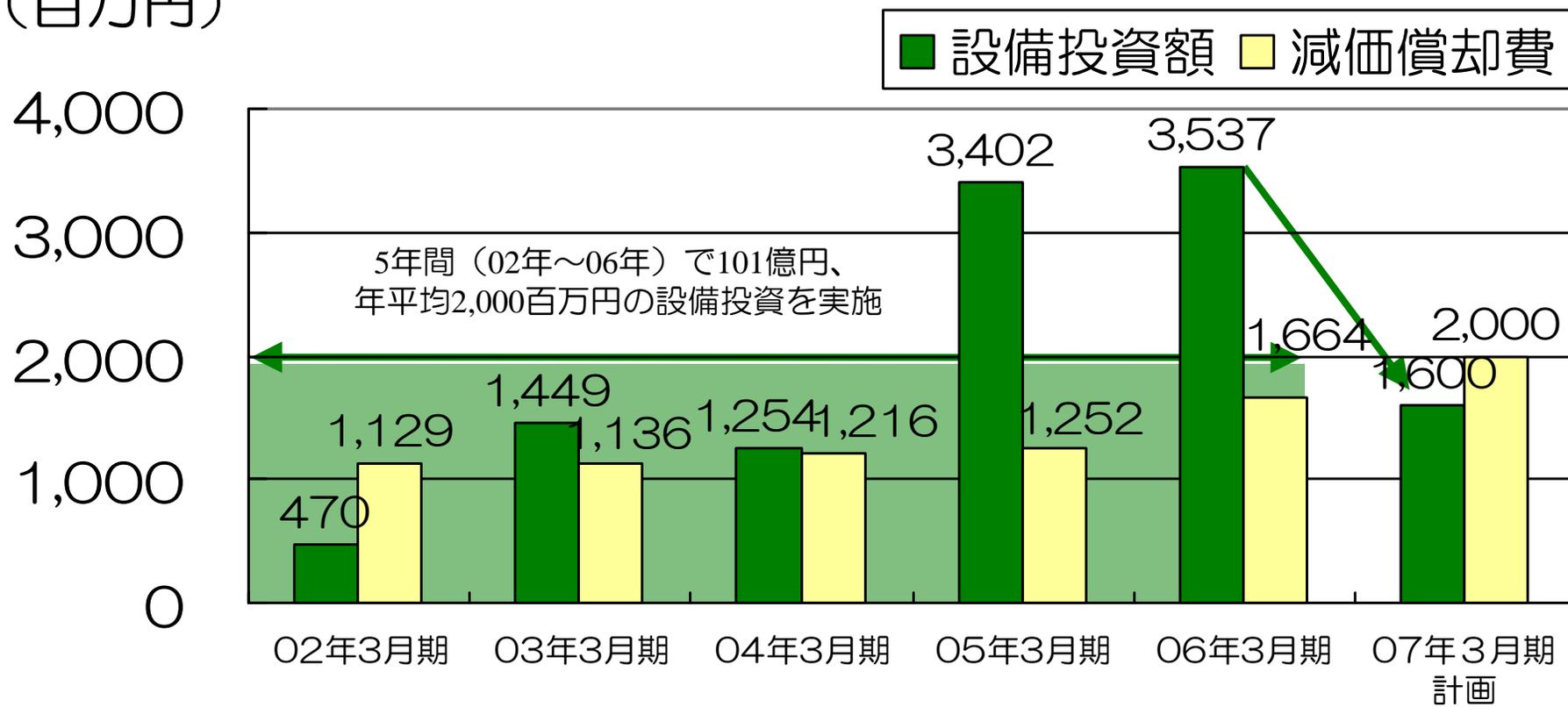
- 売上
  - 4期連続増収。過去最高の売上高計上。
  - LCD向け中心に販売価格の下落
- 利益
  - 減益
  - 大型設備投資実施による減価償却費などの諸経費増加
  - たな卸資産廃棄損、評価損の計上
- 設備投資
  - 将来の需要拡大への対応として千葉第二工場建設



## ■ 設備投資と減価償却費

- 将来の増産のため、過去5年間(02年～06年)で101億円の設備投資を実施
- 設備投資は2007年3月期は減少
- 設備は定率償却のため、減価償却費は2007年3月期がピーク
- その後、減価償却費は減少見込み

(百万円)



## ■ 感光性材料事業 展望

- 設備投資などによって上昇した固定費率の改善が急務
- 販売増、稼働率向上により固定費を回収、収益を改善

### LCD用途

- 市場
  - 需要量は急拡大
- 対策
  - 増産・拡販により固定費増を吸収

### 半導体i線用途

- 市場
  - 市場はさらに拡大
- 対策
  - 新たな製造技術により効率的生産を確立

### 半導体ArF用途

- 市場
  - 市場は拡大
- 対策
  - 開発と拡販を強化

## ■ エネルギー事業 展望 ~イオン液体・電解液~

- 量産化設備を強みとして、事業開発中

### 市場

- 数年後にハイブリットカーへの採用など、市場急拡大見込み。

### 対策

- 高純度化を強みとして、新規顧客の開拓と新製品のサンプルワークを継続実施。

## ■ 化成品事業 展望

- 好調な事業拡大を市場拡大と共に加速

### 市場

- VOC排出規制など環境関連法の強化で規模拡大

### 対策

- 需要拡大に対応するため、生産効率を向上。
- 高まる電子材料用高純度溶剤の需要の取り込み

## ■ 香料事業 展望

- 製品の高付加価値化により、中国品と差別化
- 高付加価値製品への技術的優位性を確立

### 市場

- 世界市場は緩やかに成長
- 中国品との競争激化

### 対策

- 付加価値製品の開発と技術の獲得
- 世界上位の香料メーカーへの拡販

## ■ ロジスティック事業 展望

- 高付加価値サービスにより売上向上
- キャパシティを拡大し、売上向上

### 市場

- 景気回復により需要は堅調

### 対策

- 下期タンク4基増設計画 売上寄与は来期以降

今期もどうぞよろしくお願い致します



# 東洋合成工業

(ご注意)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。